



市長に寄せられた 市民の声

まちづくりを生かす市民の声

市では、皆さんのご意見やご要望である「市民の声」をお聴きし、まちづくりへ反映するように努めています。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4110）

平成30年度は、「市長への手紙」や「陳情・要望」などを通じて、都市建設部門や、商工観光部門、福祉部門や教育部門に多くの市民の声が寄せられました。（表1・2）

市長への手紙

昨年度、寄せられた意見と回答の一部をお知らせします。

内容は、意見が寄せられた時点のものです。

声①

グリーンパークでの市民による焼き肉で、芝が焦げたり、網や炭が放置されているので、焼き肉などを禁止するか、監視カメラを設置するなど、ゴミの放置を少なくするように、対策をしてほしい。

回答①

市では、グリーンパーク内での焼き肉を禁止しているほか、他の公園での焼き肉においても芝生を傷めないことや、ごみを持ち帰ることなどの周知啓発に努めているところですが、

しかしながら、公園内の芝生の焦げやごみの散乱など、一部利用者のマナー違反が後を絶たず、市民の憩いの場である公園の美化が損なわれている現状に、市でも頭

を悩ませているところです。

今後は、緑ヶ丘公園を含む焼き肉の利用が多い公園の巡回指導を強化するとともに、不適切な公園利用の写真を公開するなど、公園の適正利用について、市民の皆さまの理解を促進する取り組みを進めてまいります。

（担当） みどりの課、緑ヶ丘2、みどりと花のセンター内、☎21・3172）

声②

町内会への加入を促進してほしい。

回答②

町内会は、地域で生活する上でコミュニティの中心となる住民組織であり、災害発生時などにおい

て身近なセーフティネットでもあると考えています。

高齢化の進行やライフスタイルの変化などを背景に、地域コミュニティが希薄化してきていますが、一方で、町内会や近隣の人と人のつながりは、近年の自然災害の多発や、独居高齢者の増加などを背景に、ますます重要になるものと捉えています。

こうした中、帯広市では、平成30年度、町内会に加入するメリットを改めてアピールするため、加入促進に向けたチラシのリニューアルを行ったほか、町内会長や企業、市民団体などを対象とした地域実態調査を実施し、今後のコミュニティ活性化に向けた検討を進めています。

町内会活動の低下は、地域コミュニティの弱体化につながり、災害や防犯、子どもの見守りなどへの対応力の低下を招くことから、今後とも、町内会の重要性に関する周知・啓発はもとより、加入促進に向けた取り組みを進めたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
（担当） 市民活動推進課、市庁舎3階、☎65・4130）

表1 「市民の声」の受理方法別件数

受理方法	件数	比率
市長への手紙	382	39.8%
陳情・要望	504	52.5%
市長との懇談会 (地区懇談会・市民トーク・ ティーミーティング・ おじゃまします)	37	3.9%
その他(電話・Eメールなど)	37	3.9%
合計	960	100.0%

※比率は、小数点以下第2位で四捨五入し、端数調整はしていない

表2 担当部門別「市民の声」

担当部門	件数	比率	担当部門	件数	比率
政策推進	57	5.9%	農政	32	3.3%
総務	67	7.0%	都市建設	200	20.8%
市民活動	80	8.3%	教育	110	11.5%
市民環境	56	5.8%	消防	22	2.3%
保健福祉	110	11.5%	上下水道	8	0.8%
こども未来	55	5.7%	その他	18	1.9%
商工観光	145	15.1%	合計	960	100.0%

※比率は、小数点以下第2位で四捨五入し、端数調整はしていない

080-8790



帯広市西5条南7丁目1番地
帯広市長行

●手紙用紙を紙面から切り離してお使いください

- ①キリトリセンに沿って 切り離し、手紙を書く
- ②二つ折りにし、のりしろ 部分を貼り合わせて投函

